

Tempo Primo News

Vol.12

2024 June

テンポプリモニュースは、弊社のアーティストを紹介すると共に、全国の主催者・音楽関係者をつなぐニュースレターです。

www.tempoprimo.co.jp

完売に次ぐ完売。ドイツの名門オーケストラ人気沸騰のピアニストを従え2年ぶりの来日！

ベルリン交響楽団

Berliner Symphoniker

2025.
6-7月

ピアノ：石井琢磨

指揮・オーボエ独奏：ハンスイェルク・シェレンベルガー

市場やその環境が大きく変化する一方で、クラシック音楽そのものの価値は変わりません。歴史や国境を越えて普遍的な価値を有する舞台芸術の魅力や、激変の時代の中でどうお客様にアピールしていくか、まさに今我々提供する側の力量が求められる時期でしょう。そうした観点からも、皆様とこの機会に交流と議論を深め、共に芸術を世の中に広める仲間として一緒に歩めればと思います。

皆様に引き続き、ご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

チケットを販売していて感じるのが、まずお客様がホールに戻ってきたこと。そしてその客層が徐々に変わってきていること。チケット単価が若干上がっても良いものは売れること。SNSが情報源として大きな役割を果たしていることなどです。

売り方、値付けの仕方、宣伝の仕方などは時代や市場の変化に合わせて、柔軟にかつ積極的に仕掛けていく必要性を強く感じます。特に海外アーティストは円安や原価高の影響が極めて大きく完売しても大きな収益が出ないことから、付加価値をつけて可能な限りチケット単価を高くすることが必須となり、弊社の企画も工夫し価値を高めて皆様に提供することが心掛けています。

近の公演、それから担当者による気軽に読めるコーナーもあります。お役立ち情報や、業界の最新の情報などもお届けできればと思います。

アーティストの売り込みだけではなく、皆様のお役に立てるような内容を盛り込んでまいりたいと思います。

ニュースレター再開に寄せて

全国の主催者の皆様、日頃は弊社の業務にご理解を賜り誠にありがとうございます。約2年ぶりに、本ニュースレターの配信を再開させていただきます。

こうして皆様にお届けするのも、私たちのアーティストや弊社のことを知っていただき、皆様とコミュニケーションを増やしていきたいと考えてのことです。ニュースレターの内容にご興味を持っていただいたり、面白い、つまらない、改善せよなどあらゆるご意見に真摯に耳を傾けたいと考えておりますので、皆様のご教示を賜りますと大変ありがたく存じます。



株式会社テンポプリモ
代表取締役 中村聡武

Performance Report

公演レポート



坂東玉三郎 お話と素踊り

2024年

2/3 岡山芸術創造劇場 ハレノワ 2/6 文京シビックホール

2/9 市川市文化会館 2/12 三重文化会館

2/19 所沢市民文化センター ミューズ 2/24 新潟県民会館

24 時間弾丸韓国旅行記

未曾有の円安のなか旅に飢えていた筆者は、「今行くら韓国」とのネットニュースを偶然キャッチ。これは!!と早速飛行機を検索すると実家に帰省する往復電車賃と同等の値段で韓国を往復できる事実が判明。恐る恐るGW明けの有給休暇を申請し無事受理された筆者は(皆に感謝)、韓国に飛んだ。そう!ダヴィッド・フレイ(Pf)を聴くために!

ソウル・アーツ・センターで彼が演奏したのは、シューベルトやリストの名曲。多彩な弱音表現に酔いしれ、若く熱狂的な韓国の聴衆はアンコールも当然のごとくフレイを何度も呼び戻す。ついに3曲目、ゴルトベルクのアリアが奏でられた瞬間、会場中が感嘆の溜息に包まれた。

滞在24時間の弾丸旅行は早起きが命。お昼のフライトに乗る前になんとか明洞へ行かねばならぬ。「ここは韓国の池袋か渋谷か…」と錯覚しながらドラッグストアをハシゴしまくり無事お土産も調達完了、飛行機に飛び乗った。

さて、女子率90%を超える社内へのお土産は、男子も問答無用で顔バック!なのであった。(鈴木)



聴衆大興奮のダヴィッド・フレイ公演



お隣の会場は韓国の大スター チョ・ソンジン
開演2時間前から写真撮影スポットは長蛇の列!

オフィスより

前回のニュースレターの発行が2021年の12月。当時はコロナ禍で様々な制約があった中で招聘や演奏会開催を行っていました。最近はやや楽な一環として、弊社近くの銀座を通勤時に時々歩きますが、外国人観光客の多さに驚きながら、コロナの影響はどこ吹く風やら…。

昨年度は創立15年目を迎え、新社員も複数名入社し事務所の中は賑やかになりました。かく言う私も昨年の4月より勤めております。初めての音楽事務所での業務はとても新鮮で、お客様や各主催者様の声を直接聞く事ができ、音楽談義に花を咲かせています。

コロナ禍は、お花見や観光など普段の何気ないことが出来ませんでした。気軽にできる事の喜びをかみしめながら、このニュースレターをご覧いただいている皆さまにお会いしたいと思います。(中條)

株式会社テンポプリモ マネジメント・オフィス
Tempo Primo Japan Co., Ltd. Management Office

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-19
銀座三真ビル4階

TEL: 03-3524-1221 FAX: 03-3524-1222
E-mail: info@tempoprimo.co.jp
www.tempoprimo.co.jp

編集・発行 株式会社テンポプリモ

経営理念

株式会社テンポプリモは、全従業員のもの心両面の幸福を追求するとともに、3つのA(Artist, Audience, Art)に尽くし、芸術の力で世の中を明るくしてゆくことを経営理念といたします。

Recommended Artist Vol.12 全米・ヨーロッパで25万人を動員する大ヒットのクラシック・エンターテインメントが遂に初上陸。

今月のイチオシアーティスト ピアノ・バトル Piano Battle

鍵盤の色、黒と白のスーツにそれぞれ身を包んだドイツ人ピアニストのアンドレアスとポールが演奏で対決し、勝敗を観客が決める新しい形のコンサートです！

- Battle1

超絶技巧対決

ショパン:エチュード VS スクリャービン:エチュード
- Battle 2

名曲対決

シューベルト:幻想曲 VS ドビュッシー:月の光
- Battle 3

現代音楽対決

リゲティ VS テーブルテニス(!?)
- Battel 4

月光ソナタ対決

どちらが美しいか
- 番外編

名曲メドレー演奏

リスト「カンパネラ」「チャイコン」「エリーゼのために」「ラフ2」「ハンガリー舞曲No.5」「アヴェ・マリア」「スティングのテーマ」スターウォーズより「ダースベダーのテーマ」レディガガ、ワンダイレクション他名曲のオンパレード！



Battle 5 ファイナル「展覧会の絵」目隠して演奏！

各演奏が終わると、お客様のお手元のプログラム(表裏で白黒の構成)をいっせいに挙げてもらいます。公演では予測不可能な演奏も飛び出し、お互いをディスりあうトークもあって盛り上げます。

公式HP:
<https://pianobattle.com/media/>
※申し込み殺到につき、お急ぎください！



勝敗は手元のプログラムを掲げて判定



お互いをディスるトークも絶妙



ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団



五嶋みどりwithルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団



ジャスミン・チェイ×朴莢姫(パク・キュヒ)



シルク・ドゥラ・シンフォニー



坂東玉三郎 お話と素踊り



オックスフォード マートン・カレッジ合唱団



ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団



ポーランド国立放送交響楽団

詳しくは
コチラ



2025年度 来日アーティスト紹介！

“初” という言葉はとても印象に残りますよね。2025年度テンポプリモは初ものづくしの企画をお届けします！

創立60周年のデンマーク・フィッハーモニー管弦楽団(4月)が初来日。ソリストにはメディアでも活躍している廣津留すみれ(ヴァイオリン)を迎えます。前回の来日で完売に次ぐ完売を記録したベルリン交響楽団(6・7月)はYouTuberとして登録者数うなぎ上りの石井琢磨(ピアノ)が初めて海外オーケストラとの日本ツアーを果たします。

秋は、チョン・ミョンフン指揮、藤田真央(ピアノ)のミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団。マリン・オルソップ指揮、角野隼斗(ピアノ)のポーランド国立放送交響楽団が来日。芸術の秋をより一層盛り上げます。

年末には、苦難の中でも希望の灯として私たちの琴線に触れる

演奏を届けるウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団(12月)が「新世界」第九を引っ提げて登場。2026年3月には世界の檜舞台で活動中の五嶋みどり(ヴァイオリン)がルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団とメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を演奏！これこそ2025年度のハイライトになること間違いありません。

エンタメ系は世界各地延べ25万人を動員し、お客様が白黒決着を決める!?ピアノ・バトル(10・11月)が遂に日本初上陸！コンサートホールにサーカスを！のもと、シルク・ドゥ・ソレイユ等の有名カンパニー在籍者が出演するシルク・ドゥラ・シンフォニー(2026年1月)など多彩な企画が目白押し。

他にも、初共演のジャスミン・チェイ(フルート)×朴莢姫(ギター)デュオ・リサイタル(8・9月)、チエコ少女合唱団『イトロ』(10・11月)、大好評の坂東玉三郎お話と素踊り(通年)をご用意しております。

お客様を満足させる事間違いないテンポプリモの企画をぜひご期待ください！

弊社招聘企画

2025年4月	アリョーナ・バーエワ(ヴァイオリン)	9月	ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団 (指揮:チョン・ミョンフン/ピアノ:藤田真央)	3月	五嶋みどり&ルツェルン・フェスティバル室内管弦楽団 (指揮:ダニエル・トッド)
4-5月	ダヴィド・フレイ(ピアノ)	10月	ヤボルカイ兄弟(ヴァイオリン・チェロ)	11月	ベルリン国立歌劇場管弦楽団 (指揮:クリスティアン・ティーレマン)
4-5月	デンマーク・フィルハーモニー管弦楽団 (指揮:H.シェーファー/ヴァイオリン:廣津留すみれ)	10-11月	ピアノ・バトル		他
6月	ヴァハン・マルディロシアン(指揮・ピアノ)	10-11月	チエコ少女合唱団「イトロ」		
6-7月	ベルリン交響楽団 (指揮:H.シェレンベルガー/ピアノ:石井琢磨)	12月	ヴァレリー・ポリャンスキー(指揮)	通年	ジュリアン・ラクリン(指揮・ヴァイオリン) アダム・ヒコックス(指揮) 坂東玉三郎「お話と素踊り」 假屋崎省吾×横山幸雄「ピアノと花の華麗なる世界」 山田和樹指揮・横浜シンフォニエッタ 他
9月	レヴ・バキエロフ(ピアノ)	12月	オックスフォード・マートンカレッジ合唱団		
9月	ジャスミン・チェイ(フルート)&朴莢姫(ギター)	12月	ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 (指揮:ミコラ・ジャジュラ)		
9月	ポーランド国立放送交響楽団 (指揮:マリン・オルソップ/ピアノ:角野隼斗)	2026年1月	シルク・ドゥラ・シンフォニー		



©Rodrigo Pérez

7/5 7/16/30
アークス福岡シンフォニーホール
7/6 7/13
ミュンヘン・ザルツブルグ・シンフォニーホール
7/7 7/14
東京オペラシティコンサートホール

プログラムA

7/5 7/13
アークス福岡シンフォニーホール
7/6 7/14
東京オペラシティコンサートホール

まもなく来日！

タリス・スコラーズ

2024年6月7日

世界最高のアカペラ声楽アンサンブル「タリス・スコラーズ」が結成50周年記念ワールドツアーの一環として、7月に5年ぶりの日本ツアーを開催！煌めくような輝きを放つ超越したハーモニー、究極のポリフォニーで人々を魅了しています。

1987年に古楽アンサンブルとして初の「グラモフォン」誌の年間レコード大賞を獲得。翌年には日本でもレコードアカデミー賞を獲得するなど、一気には日本のファンを増やし、今では最高の声楽アンサンブルとして人気を博しています。

今回の日本ツアーでは、システイナ礼拝堂で400年継承される秘曲「アレグロ・ミゼレレ」(神よ、われを憐れみたまへ)や「パレストリーナ:ミサ曲集第12巻」(汝はベテロなり)「グロリア」など、50周年記念プログラム(A)および「システイナ礼拝堂からのひらめき(B)」をテーマとした曲目が盛り沢山。どうぞ衝撃の感動をご体感ください。

いよいよスタート！

ハンガリー・ブダペスト交響楽団

2024年6月7日

来る6月、まもなく来日のハンガリー・ブダペスト交響楽団(Magyar Symphony Orchestra)。弊社でも多くのお客様からお問い合わせをいただいております。約3週間にわたる今回の日本ツアーは、誰もが知る巨匠・炎の maestro ロビン・ティンダール、勢いの止まらない若手ピアニスト・亀井聖矢との豪華タッグに加え、一部公演では故フジコ・ヘミングと腹心の友、オケの魅力と音色を存分に引き出すタクトに高い評価を持つスロバキアの指揮者マリ・オ・コシツクがお届けします。先日、現地ハンガリーではオーケストラが両指揮者とのリハーサルを終えました。楽団員は2人の maestro との、日本ツアーを心待ちにしている様子。亀井聖矢も今回のツアーに向けて色々と作戦を練ってくださっているようです。とにかく、熱いコンサートになることに疑いの余地はないでしょう。初共演の音楽家たちによる化学反応が楽しみでなりません。

リスト音楽ホールでのリハーサルの様子

